



● 門徒会館の建築が始まりました。5月末でくい打ちが終わり、鉄骨が組みあがり、基礎工事の続きに入っています。建物の姿が見えてきました。とても大きく感じますが、中に入るとちょっと狭いような気がします。本堂の屋根防水工事もあり、全面に足場がかかっています。敷地全部で工事を行っていますので、とても目立ちます。でも入り口がどこかわからないようになってしまいました。足元・頭上に注意して、足場の間をくぐってお入りください。

若松組仏教壮年会
連盟総会・研修会
のお知らせ
6月17日（土）
午後1時半から
4時ころまで
真龍寺にて
会費1,000円

● 29日に若松組仏教壮年会連盟の総会の準備のための役員会を本堂でおこないました。今度の総会で役員を真龍寺さんの仏教壮年会に引き継ぎます。やっと肩の荷を降ろせます。国分会長さんを始め役員の皆さんご苦労様でした。

別枠のお知らせの通り総会を6月17日に真龍寺さんでおこないます。会員の皆さんには返信はがきを同封いたします、出欠のご連絡をお願いいたします。

● 6月25・26日（日・月）に仙台で教区の研修会があります。別枠のお知らせの通りです。婦人会のみなさんも何人か参加してください。住職が準備・世話係として参加しています、ぜひご参加ください。

東北教区仏教壮年 ・ 仏教婦人研修会 のお知らせ

開催：6月25日（日）13:00 受付
26日（月）11:45 解散

研修：阿弥陀如来の願い

— 敬い合い 支え合って —

講師：宮本義宣先生

（中央相談員・神奈川県高元寺）

会場： 本願寺仙台別院

秋保温泉「岩本屋」

会費： 15,000円

お申込みは6月7日までに

本光寺へお願いします

住職は担当のため準備の都合上先に行っております

新門さまご婚儀

大谷光淳新門さまと古川流豆美（るずみ）さまのご婚儀は三月二十五日午後零時三十分から総御堂で行われた。大谷家と古川家のご親族が入場された後、行事鐘を合図に、色衣に五条袈裟を着用されたお二人が、七百人の参列者が見守る中、総御堂の縁を通られ正面から入場された。



登礼盤された司婚者のご門主は表白で「思えば受けがたい生をこの世に受け、夫婦の契りを結ぶことは、誠に深い縁によることであります。この上は仏祖照覧のもと、必ずしも平たんとはいえない人生の航路を夫婦相助けて歩み、喜びの時も悲しみの時も深く如来のお慈悲を思いつつ、聞法に伝道にいそしまれることを心から念じてやみません」と述べられた。

おつとめの後、お二人は「自分自身の真実の姿を自覚しつつ、南無阿弥陀仏とお念仏を申して、この人生を有意義に過ごしたいと思います。私たち二人は、僧侶、門信徒の方をはじめとすご縁ある方がたとともに、お念仏の人生を歩み、浄土真宗のみ教えが広く伝わりますように努めてまいります」と「誓いの詞」を述べられた。

お二人が焼香された後、ご門主が「宗祖親鸞聖人があえて結婚に踏み切られたことを

考えますと、自分にとって結婚はお念仏を喜ぶ得難いご縁と受け取ることができれば、素晴らしいことです。煩惱具足の凡夫が家庭を築くのですから、さまざまな食い違いに出あいます。それをおのの個性、特徴として生かすことができれば、一人で過ごす人生よりなお一層豊かなものとなることでしょう。すべてを受け入れ、真実のさとりへとよんでいてくださる阿弥陀如来の智慧と慈悲の中で、つらいことを受け入れ、うれしいことを分かち合い、共に歩む人生の始まりです。多くの方がたがこの御堂に同席してくださいましたのは、期待と励ましであると受けとめ二人の門出を祝いたいと思います」とご法話された。

ご門主が退出された後、お二人は仮御影堂に移られ、親鸞聖人の御真影の前でご焼香。続いて不二川公勝総長がお二人を前に祝辞を述べ、ご婚儀は終了した。（大乘5月号より）

